

大学
作成

なお、下書き用紙p.17・18は、今回の申請に関係のないページですが、p.19以降は、スカラネット提出後に対応が必要なマイナンバー提出について記載されています。マイナンバー情報は、下書き用紙には記入しないでください。

1

※スカラネット(WEB)の入力日を入れること

STEP2 ①あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、「奨学金確認書兼地方税同意書」を貴機構に提出するとともに、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく入力することを誓約します。

・誓約日

スカラネットを入力する日（この日を基準とし、成年判定を行います。）

※家計急変採用、緊急採用・応急採用に申し込む人は、スカラネットの入力が完了した日

・漢字氏名

（全角5文字以内）

姓

明学

名

花子

・カナ氏名

（全角15文字以内）

メイガク

ハナコ

「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照してください。

振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

・生年月日

西暦 2006 年 4 月 2 日

誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆

あなたが高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を申込みの場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、機構システム等を通じて在籍する学校に必要に応じて提供します。

☒ 同意します

◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆

あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減額額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。

☒ 同意します

※新規で給付型奨学金を申請する場合のみ
「希望します」を選択（すでに給付奨学金を受給している方は「希望しません」を選択）

STEP3 ②奨学金申込情報

1. 高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を希望しますか。

※家計急変採用に申し込む人は、「希望しません」に変更できません。

☐ 希望します ☐ 希望しません

2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を選択する方以外は「希望しません」を選択してください。）

☐ 希望します ☐ 希望しません

（重要）給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料減免を受けている人が併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます。この場合、貸与奨学金の申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額又は増額（併給調整といいます）されることがあるので注意してください。

※新規で貸与型奨学金を申請する場合のみ「希望します」を選択

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ入力してください。

- ☐ (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- ☐ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- ☐ (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ入力してください。

- ☐ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- ☐ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。
- ☐ (6) 併用貸与と不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- ☐ (7) 併用貸与と不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ入力してください。

- ☐ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
- ☐ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
- ☐ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ☐ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ☐ (12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ☐ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ☐ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

※ (12) は欠番です。

上記、(8) (9) (10) (11) (13) (14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

※貸与型の奨学金を希望する場合は、
「貸与奨学金案内」p.32にある(1)～
(14)選択肢の「解説」をよく確認し、
希望の番号を選択すること

次に表示される注意事項も必ず確認すること

STEP3 ③あなたの在学情報

- (1) あなたの学校名を確認してください。
- (2) あなたの学籍番号を記入してください。
学籍番号は半角英数字と半角ハイフンのみ入力可能
- (3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。
- (注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。

自動表示
明治学院大学

25XX1***

☒はい ☐いいえ ☐専攻科 ☐別科

全員「いいえ」を選択

専修学校又は高等専門学校の場合は、学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

短期大学は、「あなたは専攻科または別科に在学していますか。」という設問を表示します。
高等専門学校は、「あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。」という設問を表示します。
・短期大学、高等専門学校で、上記で「はい」と答えた人にお聞きします。あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。
専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか。」という設問を表示します。

☐はい ☒いいえ

☐はい ☒いいえ

☐はい ☒いいえ

☐はい ☒いいえ

- (5) 学年を記入してください。
編入の場合は編入した学年を入力してください。

1 学年

全員「昼」を選択

- (6) 昼夜課程を選択してください。
通学課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。

☒昼(昼夜開講を含む) ☐夜
☐通年スクーリング ☐昼間スクーリング

高等専門学校は、「あなたの入学年月を記入してください。」という設問を表示します。

西暦 202* 年 4 月入学

- (7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。
高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。
緊急採用・応急採用に申し込む場合は、入学年月のみを入力する設問となりますので、現在在籍している課程の1年次に入学した実際の年月(在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次に入学(高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次に進級)した実際の年月)を入力してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)

→入学した年月 西暦 202* 年 4 月

- (8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。

通常は正規の卒業予定年月を入力しますが、過去に休学や留学をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

全員「4年0か月」と記入

- (9) あなたの正規の修業年限を記入してください

「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。
(例)・4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年0か月。
・2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年0か月。
・5年生課程の4年次に編入学する人の修業年限は5年0か月。

- (10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

申し込み時点で通学しているキャンパスの住所を選択してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索してください。

(重要) 住所入力について⑩ページ参照

郵便番号 ↓○丁目まで入力されます

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降)

下記郵便番号・住所を入力

■横浜:1-2年生・国際学部・情報数理学部

→郵便番号:244-0816

住所1 :神奈川県横浜市戸塚区

住所2 :上倉田町1518

■白金:3-4年生(国際学部・情報数理学部生除く)

→郵便番号:108-0071

住所1 :東京都港区白金台1丁目

住所2 :2-37

- (11) あなたの通学形態を選択してください。

☐自宅通学(またはこれに準ずる) ☐自宅外通学

※「自宅外通学」については、
給付型奨学金案内p.15(1)
(注4)(注5)を確認

<給付型申請者のみ>

STEP3 ④奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。

☐はい ☒いいえ

注意 支給を受けたい時は、「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、採用されても振込みされません。
二次採用(秋)は「10月振込分から」と表示されます。

以下のような場合に「はい」を選択してください。

- ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある
- ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある。

※届出による停止解除により、支給を再開することができます。

給付型奨学金の支給を受けたい場合は、「いいえ」を選択

＜貸与型申請者のみ＞

1. 第一種奨学金を希望する人

STEP3 ⑤奨学金貸与額情報

大学・短期大学・専修学校専門課程の場合

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。

【2018年度以降入学者（2018年4月以降の入学年月を入力した人）の貸与月額】（単位 円）

	大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千	5万1千	5万4千	6万4千	4万5千	5万1千	5万3千	6万
最高月額以外の月額	3万 2万	4万 2万	4万 2万	4万 2万	3万 2万	4万 2万	4万 2万	4万 2万

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。収入・所得金額の目安は、貸与奨学金案内（大学等）を参照してください。

→最高月額を選択した人は、以下の質問に教えてください。

貸与月額「最高月額自動表示」円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

（注）所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

返還方式については「貸与奨学金案内」を参照。

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

円

貸与始期は、
一次採用(春)は4月、
二次採用(秋)は10月です。

(1)で最高月額を選択した人は
第二希望の月額を選択

「貸与奨学金案内」
p.19をよく確認の上、
選択すること

円

☐所得連動返還方式
☐定額返還方式

☐はい ☐いいえ

第一種奨学金の再貸与を
希望する人は
「はい」を選択

※過去に大学で第一種奨
学金を借りたことがなけ
れば「いいえ」を選択

2. 第二種奨学金を希望する人

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

☐2万円 ☐3万円 ☐4万円 ☐5万円 ☐6万円 ☐7万円
☐8万円 ☐9万円 ☐10万円 ☐11万円 ☐12万円

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

☐はい ☒いいえ

「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは（医・歯は4万円、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

☐4万円 ☐2万円 ☒希望しない

全員「いいえ」
「希望しない」
を選択

併用貸与を希望する人、第二種奨学金で12万円を希望した人

併用貸与を希望した人、第二種奨学金で12万円を選択した人に表示されます。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

貸与月額が適切である

☒はい ☐いいえ

第二種奨学金を希望する人

(3) あなたは毎月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

貸与始期について、一次採用（春）で申込みする人は、2025年4月～9月のいずれかの月を入力してください。二次採用（秋）では、2025年10月～2026年3月のいずれかの月を入力してください。次の設問3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2025年4月を入力してください。応急採用を申し込む人は、「貸与奨学金案内」で申請できる貸与始期を確認してください。

2025 年 月

2025年4月～9月のいずれかの月を選択。4～6月を選択した場合は初回振込時（7月）に希望月からの貸与額がまとめて振り込まれます。
※入学時特別増額貸与奨学金希望者は、2025年4月を入力すること

新入生および今年度編入学した人のみ

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ教えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

入学時特別増額貸与奨学金について、入学した学校において1回だけ受けることができます。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。

高等専門学校の1、2、3年生は、入学時特別増額貸与奨学金の申込みはできません。

詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。

「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

○はい ○いいえ

※編入学で希望する人は「いいえ」を選択し、書類受付時に希望する旨を申し出てください。

○10万円 ○20万円
○30万円 ○40万円 ○50万円

第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は教えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

返還時の利率の算定方法については「貸与奨学金案内」を参照してください。

○利率固定方式
○利率見直し方式

「貸与奨学金案内」p.17をよく確認の上、選択すること

STEP4 ⑥あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

直近を選択→

西暦 年 月
○中学校 ○高等学校 ○高等専門学校 ○短期大学 ○大学
○大学院 ○専修学校（高等課程） ○専修学校（専門課程） 卒業又は退学

高等学校・大学・短期大学等、学種を記入

3. 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか（現在支給が終了しているものを含む）。

【貸与】あなたはこれまでに、「②奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか（現在貸与が終了しているものを含む）。

注意③ページの②奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の奨学生番号がある場合に「はい」を選びます。

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が調整されます。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号1
奨学生番号2
奨学生番号3

採用取消した奨学生番号の入力は不要

○はい ○いいえ

○はい ○いいえ

「②－奨学金申込情報」で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の奨学金を受けている／受けたことがある場合は、「はい」を選択し、奨学生番号を入力してください。

<貸与型申請者のみ>

それぞれの保証制度について内容を確認の上、選択

STEP5 ⑦保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

保証制度については「貸与奨学金案内」を参照。

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です
(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 機関保証 ☐ 人的保証

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

併願又は併用で申し込み(次の選択肢を選択した場合)、かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合、次の設問を表示します。

- (2) 第1希望: 第一種奨学金 第2希望: 第二種奨学金
(4) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用)
(5) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金
(6) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金 第3希望: 第二種奨学金
(7) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第二種奨学金

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

☒ 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です

(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です

(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

入力時は、「住所の入力例」を確認し、住所1と住所2の重複がないよう注意。
※住所1には「●丁目」まで表示される
※郵便番号は「半角数字」
番地は「全角数字」
で入力すること

STEP6 ⑧貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は 自動表示 さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。(任意)

(3) あなたの生年月日は 自動表示 ですね。

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(重要) 住所入力について以下参照

郵便番号

XXX-XXXX

↓○丁目まで入力されます

住所1 (自動入力)

東京都港区白金台●丁目

住所2 (番地以降)

△▲-□

<貸与型申請者(機関保証)のみ>

父母や親戚等、あなた自身についての照会に対して責任を持って回答できる方を記入すること(友人等は不可)。
また、予め承諾を得てください。

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

<貸与型申請者(人的保証)のみ>

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

※必ず事前に連帯保証人・保証人の了承を得てから記入すること
※採用後、返還誓約書への署名・押印と以下の書類提出が求められます。
・(連帯保証人)収入に関する証明書と印鑑登録証明書
・(保証人)印鑑登録証明書
連帯保証人・保証人の選任条件は「貸与奨学金案内」p.25-28参照

※連帯保証人・保証人の住所は、印鑑登録証明書に記載されている住所を記入すること

※「はい」を選択した場合は、
証明書類の提出が必要

STEP7 ⑨あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

☐ はい ☐ いいえ

☐ 児童養護施設入所者等 ☐ 児童自立支援施設入所者等 ☐ 児童心理治療施設入所者等

☐ 自立援助ホーム入所者等 ☐ 里親に養育されている（いた）人 ☐ ファミリーホームで養育されている（いた）人

「はい」を選択する人は、施設に入所していた（入所している）、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された
証明書類の提出が必要です。

（証明書類の例）

施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等

※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

父母両方の記入が必要
※こちらで入力した方について、
マイナンバーの提出が必要

2. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について入力してください。

1. で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です
（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。

無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。生計維持者として入力した
人物についてマイナンバーを提出する必要があります。離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持
者として入力する必要があります。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。

☐ 1人 ☒ 2人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

生計維持者①の入力は必須です。

(a) あなたとの続柄

養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

父
あなたからみた続柄です。（例）父、母↑

(b) 生計維持者①の氏名

「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照し、入力してください。

漢字氏名（全角5文字以内）

カナ氏名（全角15文字以内）

姓 名
明学 晃一
メイガク コウイチ

(c) 生計維持者①の住所

（重要）住所入力について4ページ参照

郵便番号

XXX-XXXX ↓〇丁目まで入力されます

住所1（自動入力）

東京都港区白金台●丁目

住所2（番地以降）

△▲-□

(d) 生計維持者①の生年月日

西暦 1975 年 4 月 1 日

(e) 生計維持者①は2023年1月2日以降に転職しましたか。

☐ はい ☐ いいえ

※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報（2023年1月～2023年12月の収
入情報）にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細
等の提出により、再審査を希望することができます。

次から選択してください。

〇第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望
します。

※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることが
あります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあ
ります。

☐ 上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

〇直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。

※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

減収を伴う転職をした場合のみ「はい」を、
それ以外の場合は「いいえ」を選択

※雇用・非雇用に
関係なく、表示されません。

上記で「はい」を選択した場合、
いずれか一つを選択

次の設問では2024年12月31日
時点の情報を入力

（以下は人数に含めない）

- ・生計維持者自身・配偶者
- ・生計維持者より年長の者
- ・収入があり税制上扶養から
外れた兄弟等

該当する子どもの分は数に含めずに入
力し、書類提出時に学生部に申告

貸与型申請者のみ

3. 2023年12月31日時点の生計維持者①と生計維持者②の扶養親族を全員入力してください。

※1 生計維持者が住民税等の申告を行った扶養親族を確認のうえ、入力してください。

（確認できる書類）年末調整の令和5年分扶養控除等（異動）申告書の写し、令和5年
分給与所得の源泉徴収票、令和5年分確定申告書の写し（扶養親族が
記載されている部分）など

※2 「1人目の情報」として、あなた自身の情報が自動で入力されています。あなた自身が
生計維持者の扶養親族（※1の条件を満たす場合）であるか確認してください。あなた
自身が生計維持者の扶養親族でない場合は、「1人目の情報」を削除してください。

※3 生計維持者の配偶者は、扶養されているとしても入力しないでください。
（扶養親族にあたらないため）

※4 2023年12月31日より後に生まれた子どもは含みません。（ただし、別途申告すること
により子どもに含める場合があるため、学校の奨学金担当窓口にご相談ください。）

※5 入力された扶養親族情報のうち子どもに該当する人数及び税情報によって、多子世帯の判定が行われます。なお、子どもに該当する人数は「申込者本人」、「生計維持者の子」及び「その他（年下）」（それぞれ※1の条件を満たす場合）の合計となります。

<給付型申請者のみ>

7. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。
（1万円未満切り捨て）
※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計
（不動産は対象としません）。

あなた		万円
生計維持者①		万円
生計維持者②		万円
合計		万円

現金・預貯金・有価証券の合計金額を記入
※不動産・保険は対象外

STEP8 ⑩家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください（全角200文字以内）

全員入力する必要があります。併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

特に、家計急変採用、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「いつ」「どういった事由で」家計急変したのか、事情をできるだけ詳しく入力してください。震災、火災、風水害等に被災し、生計維持者が死亡、行方不明、生死不明となったことを事由として申し込む場合は、被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）等の状況を詳しく入力してください。

注）第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください（学校担当者から確認等を行う場合があります）。

【全員記入必須】※160字以上を目安にできるだけ詳細を記入

- ・なぜ奨学金が必要なのか（家庭事情や経済的事情など）
 - ・奨学金を何に使用する予定なのか
（学納金に充てる、一人暮らしのため）
 - ・併用貸与希望で第二種奨学金の月額12万円を選択した場合は、その金額を借りる「理由」を明確に記入
- <空欄・記入不足のまま出願した場合は、出願を受け付けません>**

STEP9 ⑪奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。

必ず確認してください→

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済である人のみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

公金受取口座とは

○希望します

○希望しません

○銀行 ○ゆうちょ銀行

「希望しません」を選択

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。

設問1. で「（公金受取口座の利用を）希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国（デジタル庁）に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機構が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力してください。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力して構いません。

《重要》口座名義人は、①あなたの氏名・誓約情報で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照しながら、学生本人の本名を全角で入力してください。

銀行等を選んだ場合

金融機関名および支店名を選択してください。

- 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。
- 金融機関名を選択してください。
- 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。
- 支店名を選択してください。

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。
スカラーネット入力時は、確認用に再度口座番号を入力する欄が表示されます。

4. 口座名義人を入力してください。
（口座名義人は本人に限ります）

普通（総合）口座

カナ姓 カナ名

下書き用紙欄外に以下を記入
・金融機関名
・支店名

●口座名義人は、奨学生本人であること
●B-誓約書欄で入力した本人のカナ氏名と同一であること

ゆうちょ銀行を選んだ場合

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は入力不要です。
※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。
スカラーネット入力時は、確認用に再度記号・番号を入力する欄が表示されます。

4. 口座名義人を入力してください。
（口座名義人は本人に限ります）

記号

番号

カナ姓 カナ名

※口座情報に不備があると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。
支店の統廃合などもあるため、最新の情報を確認の上、正確な情報を記入してください。